

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	高齢者住宅改造成事業		コード	担当課係	福祉事務所	高齢者福祉係
			02-01-04-03	担当者	行正英仁	
事業実施期間			電話	64-1827		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	やさしさあふれるまちづくり				
	小項目	社会福祉				
	施策	生活支援サービスの充実				

事業について	
目的	高齢者の居宅における日常生活を容易にするとともに介護者の負担を軽減し、在宅生活の継続を促進する。
対象(誰のために)	要介護認定又は要支援認定を受けた高齢者
内容	住宅改修の工事費について助成する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
住宅改造成助成利用者数	12 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,147	国庫補助金等	1,573	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,040	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,187	一般財源等	2,614	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.15	人
結果指標名	住宅改造成助成利用者数	
結果指標量	12	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費	4,187,000	円
単当たりコスト①	348,917	円

結果指標名	住宅改造成助成利用者数	
結果指標量	12	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単当たりコスト②		円

事業の成果	17年度	
成果指標名	住宅改造成助成利用者数	式又は説明
成果指標量	12	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	12	到達目標年度 毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 備前市高齢者及び重度身体障害者(児)住宅改造成事業実施要綱	高齢者が住みよい。高齢者の在宅福祉施策の根幹であり、特に問題はない。
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	現在補助事業であるが、今後は単市事業となることが予想される。受益者負担・支給限度額について見直すことも必要である。
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	安心して住み慣れた在宅で自立した生活ができることは、高齢者自身の願いであり、市が行なう自立支援施策としては重要であると考えます。	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①		結果指標量②
目標値	結果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	助成対象とする工事内容・価格の適正化を図る必要がある。	毎年度	限られた財源の中で最大限の効果をあげることができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。